

第11回企画運営委員会（10.12.21）のまとめ

第11回企画運営委員会は12月21日（火）に開催されました。

今回は、これまでの平成22年度の学び舎事業の実施内容を報告し、来年2月に行う予定の「第4回福祉のネットワークづくり交流会」の企画内容について検討しました。話し合いの内容は以下のとおりです（配付された資料とあわせてご覧ください）。

これまでの福祉の学び舎事業の実施内容について（口頭で報告）

■第3回福祉のネットワークづくり交流会（8/24）

「まなびやニュース第4号」で報告したとおりです。

■ミニ茶話会

○「配食サービスを考える（7/29）」

30名ほどの参加があり、関心が非常に高いことが分かりました。もっとも多かった意見は、「とにかく現状がどうなっているか、わからない」ということでした。

参加者それぞれが持つ情報を出していただくとともに、地元の業者さんからは提案なども出されました。何をするにしても、「区全体としてどうなっているかを把握する必要がある」ことがわかり、この後に説明する「配食サービスを考える会」につながりました。

○「見守りを考える（11/10）」

このテーマについても20名ほどの参加がありました。初めてのテーマだったため、この回でも参加者それぞれが持つ情報を交換することにしました。大きく分けると、「高齢者の見守り」「子どもの見守り」という点での話し合いでした。いずれにしても、地域内で知り合える環境づくりや人と人をつなぐしくみづくり、一歩踏み出すきっかけが必要であることがわかりました。

■現場訪問ツアー

○坂井ファームクリエイト（10/13）

「あおぞらポコレーション」のメンバーが小松菜の選別作業をしているようすや、農家持ちより市場「採彩」、ヒツジの放牧のようすを見学し、坂井涼子さんより経緯や実状についてお話をうかがいました。

○亀田東児童館（10/26）

館長の橋本さんより施設内を案内していただきながら、児童館でやっていることや配慮点などをうかがいました。

○地域のお茶の間（11/24）

午前は、徳善さんのいきいきサロン「ころころ53」にうかがい、当日行われたヨガを参加者も体験しました。お昼は、まとうさんたちが運営されている「みんなの居場所『こもれび』」で手作りの食事をいただきながら、お話をうかがいました。

午後からは、亀田市民会館で行われている「お亀楽縁」でしおりづくりなどを体験しました。

■新規：配食サービスを考える会（第1回：12/13）

配付した資料で提示した企画をもとに、江南区内の「配食サービス」の実態調査を行うことになり、「江南区の配食サービスを考える会」を立ち上げました。第1回めの会議では、この企画内容の説明と意見交換を行いました。

調査では、配食と同時に“見守り”を行っているかどうか、高齢者等限定された対象者かどうかに関わらず、「お弁当」の宅配を行っている業者や団体を調査します。名称や価格だけでなく、配達エリアや時間などの条件も調べる予定にしており、江南区内に配達するならば区外の業者も調査対象にします。ケアマネージャーさんや民生委員さんが、利用者にたずねられたときに活用していただくようにしたいと考えています。

第4回福祉のネットワークづくり交流会の企画内容について

資料で示した提案を説明した後、意見交換を行いました。

■意見交換の内容

- 開催時期が2月だと天候によって参加者が少なく、いつもと同じメンバーになりそうだ。
- 「連携による新たな事業の“種”づくりワークショップ」（案3）は、具体的なイメージがわかりづらい気がする。
- 「配食」に対して関心が高いことや高齢者の栄養失調が増えてきていることから、パネルディスカッションは「栄養」をテーマに、配食業者だけでなく、医師や栄養管理士などを呼んではどうか。

- 栄養管理やカロリーといった専門的な話だけだと惹きつけないと思うので、生活に密着した話ができる人がいい。
- 「配食」や「栄養」に限定せず、広い意味で「食」をテーマにしてはどうか。
- 「配食」では、どんなにおいしくても、いつも同じ容器で似たようなものが提供されることで飽きがくると考えられる。“見ため”は大事。提供の仕方が問題ではないか。また、同じものを食べるとしても“自分で選んだ”ということで満足度が高まるというデータもある。
- “試食”があると参加者が増えそうだ。
- 食べたり、体験したり、というプログラムがあるのは良い。
- 試食をするなら、少しお金を払うほうがいい。
- 歯科保健関係の体験プログラムでは、歯科医師会の協力は得られると思う。
- 「試食会」と「パネルディスカッション」を組み合わせるとはどうか。パネルディスカッションは話題出し程度でよく、その後、参加者同士で意見交換をしたい。
- パネルディスカッションと意見交換（ワークショップ）の両方をやると、2時間半以上の時間が必要だ。
- 配食サービスの調査が終わってれば、各業者からお弁当を提供していただき「見本市」的なことができるのではないか。
- 参加のよびかけは、福祉関係だけでなく、一般の方にも広げてはどうか。
- 区内の飲食店にも参加を呼びかけることで、今後、配達や宅配サービスをうながすことにつながるのではないか。
- 参加対象者をどこまでにするかで、広報の仕方が変わる。



- 第4回交流会は、2月24日（木）13:30～16:30で開催する。会場は空き状況や諸条件を確認したうえで、事務局で決める。
- テーマは「食と福祉」とし、配食のお弁当の試食会など食に関する体験プログラム、関係者によるパネルディスカッション、参加者どうしの意見交換を行う。詳しい内容・進め方は事務局のほうで、個々の企画運営委員と相談しながら確定させる。

■亀田西中の生徒さんによるゴミ出しボランティア

亀田西中学校の協力により、ゴミ出しが困難な世帯に対し、生徒さんたちが登校時にボランティアをやってくれることになった。1月から冬場の登校時に実験的に行う。区のモデル事業として、1回150円の支援金を補助することになっている。

コミュニティ協議会が主体となっており、民生委員さんや包括支援センターさんが利用ニーズ調査を行い、現在2名の利用希望がある。ボランティアをやってくれる中学生がいるか調整中であり、マッチングは地域教育コーディネーターが行っている。

ボランティアをやってくれる生徒さんが登校できないときに対応をどうするかなど、課題についても今後検討していきたい。

以上です。「第4回福祉のネットワークづくり交流会」の開催が2月24日（木）に決まりました。「配食サービスを考える会」も立ち上がり、実態調査を進めています。今後も随時お知らせしていきますので、どうぞよろしく願いいたします。